

社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における緑豊かな憩い・ふれあい空間の創出〕

事後評価シート

令和4年3月

(鹿児島県 鹿児島市)

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和 4年 3月

計画の名称	鹿児島市における緑豊かな憩い・ふれあい空間の創出			
計画の期間	平成29年度 ~ 令和3年度 (5年間)	交付対象	鹿児島市	
計画の目標				

市民が市街地にある身近な自然とふれあい、憩いや安らぎを感じられる都市空間を創出するとともに、花と緑の拠点や地域コミュニティ形成の場となる公園づくりを市民と協働で取り組み、安全・快適で緑豊かな地域づくりを実現する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・市民一人当たりの都市公園面積を7.76㎡/人(平成28年度末)から7.79㎡/人(令和3年度末)に増加
- ・市民一人当たりの公共施設緑地面積を2.88㎡/人(平成28年度末)から2.94㎡/人(令和3年度末)に増加

定量的指標の定義及び算定式

市民一人当たりの都市公園面積
市民一人当たりの公共施設緑地面積

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値	中間目標値	最終目標値
(H28末)		(R3末)
7.76㎡		7.79㎡
2.88㎡		2.94㎡

備考

全体事業費	合計 (A+B+C)	570 百万円	A	570 百万円	B	0 百万円	C	- 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0 %
-------	------------	---------	---	---------	---	-------	---	-------	------------------------	-----

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

- ・鹿児島市公共事業評価検討委員会（内部）での審議
- ・鹿児島市事業評価監視委員会（外部）での審議

事後評価の実施時期

- ・令和4年1月
- 公表の方法
- ・ホームページへの掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1	R2	R3		
A-1	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	都市公園事業 ((仮称)市立病院跡地緑地)	緑地整備A=1.4ha (実施設計)	鹿児島市						14	
A-2	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	都市公園事業 (武岡公園)	風致公園整備A=4.8ha (用地取得)	鹿児島市						528	目標3.4ha実績2.2ha
A-3	公園	一般	鹿児島市	直接	鹿児島市	緑の基本計画 (鹿児島市まちと緑のハーモニープラン) 改定	緑の基本計画の改定	鹿児島市						28	
合計													570		

B 関連社会資本整備事業 (該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業主体	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H29	H30	R1	R2	R3		
合計													0			
合計													0			

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H29	H30	R1	R2	R3		
合計													0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果													備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・加治屋まちの杜公園などの整備や武岡公園の用地取得等を行った結果、都市公園及び公共施設緑地面積の増加が図られ、憩いや安らぎを感じられる都市空間の創出や、花と緑の拠点、地域コミュニティの場が形成された。		
II 定量的指標の 達成状況	指標① 市民一人当たりの都市公園面積	最終目標値	7.79㎡	目標値と実績値に差 が出た要因
		実績値	7.92㎡ (R3.12.1現在)	
	指標② 市民一人当たりの公共施設 緑地面積	最終目標値	2.94㎡	
		実績値	2.95㎡ (R3.12.1現在)	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・策定から10年が経過した「鹿児島市まちと緑のハーモニープラン」を改定することにより、本市の緑に関する現状や課題などを把握する事で事業の進捗状況や少子高齢化等社会情勢の変化、都市の生物多様性の確保等他の関連計画との整合が図られる。		
3. 特記事項（今後の方針等）				
今後も引き続き、武岡公園の整備や土地区画整理事業などによる新たな公園を設置することで、市民1人当たりの都市公園及び公共施設緑地面積を確保し、潤いと安らぎのある都市空間の創出と安全・快適で緑豊かな地域づくりを推進する。				